

専門研修制度に関する和歌山県の意見(案)

I 専門医制度全般に関する意見

専門研修制度については、医師法の規定及び趣旨に基づき、事前に都道府県の意見を聴取するとともに、意見の内容を十分に考慮し、2020 年度の募集定員のシーリングについては速やかに見直すとともに、2021 年度以降の募集に向けて継続的な見直しを行うこと。

1. 専門研修プログラム募集定員について

- ① 専攻医が著しく多い東京都とその他の地域のシーリングを区別して、それぞれの算定方法を見直し、地域医療に支障を来さないような仕組みとすること。

【理由】

東京都への専攻医の集中を是正するためのシーリングならば、全国一律で同じ算定方法を用いる必要はなく、地理的条件や医師の地域偏在等の地域の実情を十分に反映した算定方法を用いるべきである。

- ② 必要医師数の算定根拠となっている「専門医制度における基本診療領域と疾病等との対応表」を公表するなど、シーリングに係る計算方法の全容を明らかにすること。

【理由】

シーリング後の募集定員が地域医療に影響を及ぼすかどうかを検証するためには、シーリング数の算定根拠等が必須であることから、シーリング算定にあたって使用した全てのデータを提供すべきである。

- ③ シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、病院勤務医と開業医とを厳密に区別すること。

【理由】

医師・歯科医師・薬剤師調査における診療科別医師数は、専門医資格保有者数とは異なっていることから、専門医制度で養成する医師については、病院勤務医を前提として算定すべきである。

- 追加** ④ シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、医学の教育・研究を行う大学病院に所属する医師について一定配慮すること。

【理由】

大学病院には多数の医師が在籍しているが、それらの医師は臨床に加えて、教育・研究にも従事していることから、大学病院の医師については、臨床に従事する時間等に応じて算定の割合を変動させるなど、一定配慮すべきである。

- ⑤ 東京都への専攻医の集中を抑制できていない状態で募集された過去2年間の採用実績を、シーリング数の算定に使用しないこと。

【理由】

2018 年と 2019 年の採用実績は、東京都への集中が問題となっている状態での実績であることから、過去 2 年間の採用実績をシーリングの算定に用いるべきではない。

2. 地域枠医師等の取り扱いについて

- ① へき地等での勤務が課されている医師(県立医科大学地域医療枠、自治医科大学卒業医師)については、専門研修プログラムの募集定員外での採用とすること。

【理由】

卒後一定期間、県内のへき地等での勤務が課されている医師(県立医大地域医療枠、自治医科大学)については、都道府県内のプログラムに採用される必要があるため、専門研修プログラムの募集定員とは、別枠で採用できる制度設計にすべきである。

- ② 地域での従事要件が課されている医師については、他地域(他の都道府県)の専門研修プログラムに採用されない仕組みを構築すること。

【理由】

卒後一定期間、県内での勤務が義務付けられている医師(県立医大地域医療枠・県民医療枠)については、臨床研修病院のマッチングにおいて、義務履行要件と研修プログラムに齟齬がないかをチェックする仕組みが導入されているが、専門医制度においても同様の仕組みを構築すべきである。

3. 専門医制度の運用について

- ① 専門研修制度の変更等にあたっては、必ず事前に都道府県で十分検討できる時間を設けるとともに、地方から提出された意見については最大限配慮すること。

【理由】

専門研修について、地方の声を聞くための仕組みを法定化した趣旨を踏まえ、今後は、今回の募集定員のシーリングのような、地方への説明も、意見の聴取も行われたいまま、国の医療審議会で審議が行われるような事がないようにすべきである。

Ⅱ 個別研修プログラムに関する意見

- 追加** ① 和歌山県立医科大学形成外科専門研修プログラムについて、募集定員を1名から2名に増員すること。

【理由】

平成 28 年の「医師・歯科医師・薬剤師調査」では、本県で形成外科を主たる診療科とする医師数が 11 名だけであることから、早急に県内の形成外科医師を養成していくため、県内唯一の形成外科専門研修プログラムである当該プログラムの募集定員を増員すべきである。

- 追加** ② 日赤和歌山医療センター外科専門研修プログラムについて、県内に連携施設を設置すること。

【理由】

当該プログラムは、県内には連携施設がなく、県外に1箇所の連携施設を有するだけのプログラムとなっていることから、県内の医師確保対策に資するプログラムとなるよう、県内にも連携施設を設定すべきである。

- 追加** ③ 日赤和歌山医療センター放射線科専門研修プログラムについて、県内に連携施設を設置すること。

【理由】

当該プログラムは、県内には連携施設がなく、県外に 17 箇所の連携施設を有するだけのプログラムとなっていることから、県内の医師確保対策に資するプログラムとなるよう、県内にも連携施設を設定すべきである。